

# 幸 橋

＜平戸小学校だより7号＞

～思いやりのある子供～  
～自ら考え工夫する子供～  
～たくましい体と実践力のある子供～

令和3年7月5日  
平戸市立平戸小学校  
文責 校長 山村昭文



## 教育週間

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組は2004年から続けられています。

- ・2003年長崎市で中学生による幼児殺害事件
- ・2004年佐世保市で小学生児童による同級生殺害事件
- ・2014年佐世保市で高校生による同級生殺害事件

これらの本県を震撼させた重大な事件を受け、二度とこのような悲惨な事件が繰り返されることのないよう「心の教育」に取り組んでいます。

週間の初めに校長講話を行いました。全校朝会はコロナ禍の対応として低・高の2つに分けて行っていましたので、伝え方で多少違いはありますが、大筋は以下のような内容です。

『みんなが楽しい生活を送るためには、自分も相手も大切な存在として、思いやりをもって接することが大切です。優しさは思っているだけでは相手に伝わりません。相手に伝わる思いやりの行為を実践しましょう。あなたの命は、父母や祖父母、祖先とつながっています。あなただけの命ではありません。あなたは、唯一無二の存在なのです。みんなの思いやりがあふれ、楽しく生活できるようにみんなで頑張っていきましょう。』

## 田植え体験

25日(金)に5年生が田植えの体験をしました。例年のように、丸田建設の丸田様の水田で地区の皆様の御協力もあり、貴重な体験をさせていただきました。ほとんどの子供が田植えをするのが初めてで、泥んこになり、歓声を上げながら取り組んでいました。田植えの後にいただいたスイカの味は一生の思い出となることでしょう。



## 授業参観

22日(1・3・5年生)

22日(火)と23日(水)に授業参観を実施しました。新型コロナウイルスも少し収まっている状態でもあり、用心のため2日間に分けるなどの手立てを取って行いました。保護者の皆様には多数御参観いただきありがとうございました。2日間にわたる方もいらっしゃったことと思います。御迷惑をおかけしましたが、皆様の安心安全のためと御理解いただければと思います。



23日(2・4・6年生)

今回は、教育週間の取組の一環として全学年道徳の授業を行いました。学年の発達段階に応じた題材を使い、命の大切さについて考える授業を行いました。全校で一斉に取り組むことで、意識の高まりを期待しています。参観いただいた保護者の皆様は御家庭でも話題にしていたことと思いますが、各家庭でも命の大切さについて話題にしてみてください。

